

ロータリー財団情報

ロータリー財団委員会 委員長

溝畑正信

(東大阪東RC)

ロータリー財団の新補助金制度(未来の夢)は2013-14年度から全世界で導入されました。

当2660地区におきましては、グローバル補助金では、初年度の2013-14年度において申請・承認されたものは、奨学金で3件(疾病予防と治療、平和と紛争予防・紛争解決、基本的教育と識字率向上の各1件)、人道的分野では、代表提唱で7件(疾病予防と治療1件、疾病予防と治療・経済と地域社会の発展1件、母子の健康1件、基本的教育と識字率向上2件、水と衛生2件)、共同提唱で3件(経済と地域社会の発展1件、疾病予防と治療・経済と地域社会の発展1件、疾病予防と治療・水と衛生・経済と地域社会の発展1件)の合計13件の承認でした。これは、日本で最多の実績でした。

2014-15年度において申請・承認されたものは、2015年5月15日現在で、奨学金で1件(疾病予防と治療)、人道的分野で代表提唱4件(基本的教育と識字率向上2件、疾病予防と治療1件、水と衛生1件)、共同提唱2件(疾病予防と治療2件)の合計7件で、あと数件承認となる可能性があります。

地区補助金では、初年度の2013-14年度では、総額\$186,735、クラブ申請・承認44件+臨時費をフィリピンD3860への災害義援金、2年目の2014-15年度は、総額\$142,409、クラブ申請・承認37件+臨時費を東北の被災地に災害支援、3年目の2015-16年度は、総額\$183,333、クラブ申請・承認(および承認予定)36件と、他地区と比べても大変活発です。

【次年度RRFCからのお知らせ】

2015年3月31日(火)に「会員基盤向上セミナー 第2日目(ロータリー財団を活用した奉仕活動の更なる実践)」を、ホテルオークラ東京別館 アスコットホール(地下2階)にて開催いたしました。

同セミナーは、次年度竹腰RRFCをはじめ第2ゾーンの皆様方が中心に企画・準備いただきました。内容の濃いものでしたが、それ以外のロータリー財団の方針や重要事項は、“財団室NEWS”や“My Rotary”等に掲示されていますので御覧下さい。

又各地区での会合の際、要請があれば担当者が

出向し詳細説明させてもらうことも可能です。いづれにしても、チームジャパンが一体となって、すばらしい“成果”を上げるため御協力をお願いします。

なお、6月30日に予定されていたセミナーは、諸般の事情で中止となりました。(第3ゾーン 村上有司)

この件に関しましては、ガバナー月信5月号に報告致しましたが、次年度私は、第3ゾーンARRFC(ロータリー財団地域コーディネーター補佐)を務めます。よろしく願いいたします。

日本の2015-16年度の寄付目標

◆ 年次基金・1人当たり150ドル

(日本全体 約1,350万ドル)

- ・全てのクラブが寄付をし、寄付ゼロクラブをなくす
- ・ポール・ハリス・ソサエティを推進する

◆ ポリオプラス基金・1人当たり30ドル

(日本全体 約270万ドル)

◆ 恒久基金・1人当たり30ドル

(日本全体 約270万ドル)

◆ 大口寄付・1ゾーン当たり25口相当

(日本全体 約75万ドル)

◆ 地区DDFの寄贈・DDFの20%をポリオプラス基金へ寄贈する

- ・ロータリー平和センター(恒久基金)へ寄贈する

【ポリオ症例数】

2015年5月12日現在のポリオ症例数です。

	2015年1月1日~5月12日	2014年
アフガニスタン	1	28
パキスタン	22	306
ナイジェリア	0	6
ポリオ常在国以外		
エクアトリアル・ギニア	0	5
イラク	0	2
エチオピア	0	1
カメルーン	0	5
ソマリア	0	5
シリア	0	1
世界合計	23	359